

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがステイ・スマイル(笑顔のままで)です。

Stay Smile いざその時 ~災害から身を守る~ 総務課 防災危機管理係 ☎62-9326

梅雨・台風シーズンに備えて

毎年、全国各地で大雨による災害が発生しています。近年の大雨の特徴として、短時間の「局地的大雨」が急激な河川の増水や濁流を引き起こし、思いもよらない大きな被害を発生させることがあります。

梅雨・台風シーズンをひかえ、予想しがたい気象状況等に備えて、普段から地域に応じた防災対策を講じておきましょう。

- 河川の氾濫の恐れのある場所、山崩れの発生が予想される場所などを危険箇所として事前にチェックしておく。
- 避難場所、避難経路を事前にチェックしておく。
- テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話などで気象情報を入手する。
- 町や防災関係機関から出される注意事項や避難などの指示に従う。
- 危険だと感じたら、早めに安全な場所に避難する。
- 懐中電灯や食料などの備蓄品の準備をしておく。
- 家族との連絡方法を決めておく。



「災害は忘れたころにやってくる」といいます。災害時に自分自身がどのように行動すべきか考え、地域の皆さんが相互の助け合いを大切にしていだけるようお願いいたします。

水防訓練を実施します。

町では梅雨・台風シーズンに備えて、6月4日(日)に町職員、水防団員(消防団員)を対象に水防訓練を実施し、河川観測位置の確認や、土のう積み、シート張などの水防工法の訓練を行います。

Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ~子どもの場所から~

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

子どもとメディアについて親が考える

先日AiAiを利用されているお母さんたちが自主的に座談会を開きました。テーマは「スマホ育児」。スタッフも日頃から、子どもとメディアの関係についてお母さんたちとお話をする機会を持ちたいと考えていたテーマですが、取り上げ方が難しく、実現できていませんでした。スマホ育児を否定するのは簡単ですが、表面的な否定は、母親の育児不安を助長させることにもつながることが想像できるからです。スマホと育児、メディアと子どもの問題は、個々の親、個々の家庭だけで解決するのは難しく、社会全体で考えなければいけない問題です。

今回は、あるお母さんが「良くないとわかっているけど、時々スマホに子守りをさせてしまう。いつも自分のことダメな母親だと自己嫌悪に陥る。でも家事をしたいのに子どもがだだをこねる等どうしていいかわからない時はスマホに頼ってしまう。そんなことをしているのは私だけ？」という悩みを他のママと共有したくて座談会を企画、チラシを利用者に配りました。当日は十数名の母親たちが集まり、活発におしゃべりが進みました。触らせる時、時間や内容に自分なりのルールを決めている方や、スマホを全く触らせないことは自分には無理、だけど子どもに食べさせるものは手作りにする、と他でバランスを取ろうとしている方、いろいろでした。時代によって社会の作る環境が子育ての環境を変化させます。いいとか悪いとか一言では決めることができない母親たちの苦悩を、社会全体が知り、子どもにやさしい社会に変えていかない限り、母親は精神的に追い詰められるばかりです。今回母親自身が行動を起こし、自分たちで自分たちの子育てを振り返る時間をもった、ということに大きな意味があると感じました。参加された方たちからは、もっと話したいテーマがいっぱいある、ぜひ続けていこうよ、と声があがっていました。AiAiが母親たちの「自分たちで考えて行動する」を応援できる場であることの大切さを感じた一日でした。



◆有限会社 トップリバー

有限会社トップリバーは、新規就農者の育成とレタスやキャベツ等の葉物野菜の契約栽培契約販売を行うことを目的とした農業法人です。現在富士見町では、55haの圃場でレタスとキャベツを栽培しています。従事者は、社員20名、繁忙期には40名のパートさんがおります。弊社の社員は農業で独立することを目的にしていますので、県外出身者も多く、また富士見町で就農するつもりでいる者も多くいます。すでに2名が独立し、さらに今年の秋には3名が独立する予定です。

また、今年3月には富士見町とJ A信州諏訪と一緒にやっている「富士見みらいプロジェクト」による集出荷施設と事務所が完成し、レタスなどの産地育成の課題であった鮮度保持、品質の安定、安定供給の基盤が出来上がりました。水田から畑作への圃場整備も、除礫の機械の導入や、土壌改良資材の確保で順調に進み、富士見町のレタス100ha構想へ一歩前進することができたと思っています。

弊社は「人を雇用すること」が一番の地域貢献であるという信念から、富士見町の豊かな農業資源を次の世代につなげる為には、雇用ができる農業経営者を育成することが重要だと思っています。これからも地域の方々に受け入れてもらえる農業法人として業務を行ってまいりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。



Stay Smile こんにちは。『地域おこし協力隊』です！

富士見 森のオフィスで初の映画上映会が行われました！

こんにちは。地域おこし協力隊の松田です。

私たち地域おこし協力隊と町民のみなさん、そして最近富士見町に移住し農業やITのお仕事をされている方々が、知恵や情報、人などを紹介するイベント「森の知恵」が富士見森のオフィスで開催されました。

今回は、森のオフィス初の映画上映会とワークショップを行いました。

富士見近郊で農業をされている人や商いをされている人、約40名の方々が参加くださり、世界で実践されている新しい農業や自然環境問題の解決に向けた取り組みなどを映画を通して学んでいただきました。

映画上映後は、実際に普段取り組まれている農業やお仕事で直面する課題を、参加者のみなさんでグループになって解決するワークショップを行いました。不思議と、普段一人で悩んでいるような課題も、日頃全く接点のない人に打ち明けることで、自分では考えつかないようなアイデアや意見が出てくるため、みなさん目から鱗のご様子でした。

私たち地域おこし協力隊も、今回の「森の知恵」を通して町民のみなさんと農業従事者の方々のリアルな意見や悩みを聞くことができたので、今後の活動に繋がるいいヒントになった気がします。



「森の知恵」は、不定期（2ヶ月に1、2回程度）で開催していこうと思っています。今回参加できなかった町民のみなさまも、ぜひ参加してみてくださいね！

「森の知恵」に関するお問い合わせは、こちらまでどうぞ。

◆富士見 森のオフィス◆

メール：morino-office-info@routedesigning.com

電話：0266-78-8009